

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの進捗

3月31日時点

項目	2020年度 3月分	2020年度 累計	
■相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	1	7
	専門家派遣	0	5
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	18	54
	車座意見交換会	4	15
■環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	1	32
	小中学校など	3	40
	その他	0	8
・移動展示	3 (3日)	48 (80日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・個人線量測定 (WBC)の支援	0	48	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	4	155	

(リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

◆研修会

- ・ 3/2 浪江町社会福祉協議会

◆住民セミナー

- ・ 3/3 矢祭町立矢祭小学校 (1~5学年6クラス)
- ・ 3/4 矢祭町立矢祭小学校 (1,3,5,6学年5クラス)
- ・ 3/8 田村市立大越中学校 (3学年)
- ・ 3/12 郡山市立薫小学校 (6学年3クラス)
- ・ 3/17 郡山市立薫小学校 (5学年2クラス)
- ・ 3/18 いわき市出前講座

◆車座意見交換会

- ・ 3/8 大熊町
- ・ 3/12 富岡町
- ・ 3/19 楡葉町
- ・ 3/28 須賀川市

(環境再生プラザ実施分)

◆専門家派遣 ※オンライン

<自治体など>

- ・ 3/23 いわき市除染対策課

<小中学校など>

- ・ 3/2 福島市立烏川小学校 (3学年) ※
- ・ 3/9 福島市立福島第一小学校 (3学年)
- ・ 3/20 岩手県立不来方高等学校 (1~2学年)

◆移動展示

- ・ 3/2 福島市立烏川小学校
- ・ 3/4 矢祭町立矢祭中学校
- ・ 3/7 福島県環境創造シンポジウム※



烏川小学校では、専門家によるオンライン授業を行いました



烏川小学校では、放射線について紙芝居を使った授業を行いました

(菊池製作所実施分)

◆ガンマカメラ

ガンマカメラとは：
特定の場所の放射線量の
高低を色分けして着色
することで、線量を可視化
することができる特殊な
カメラです

ガンマカメラでの撮影風景



サンプル画像



相対的に
放射線量
が高い場
所に着色